

学校通信



子安だより

発行日：令和4年1月31日

発行：横浜市立子安小学校

〒221-0013 横浜市神奈川区新子安1-36-1

TEL 045-421-0993

ホームページアドレス

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/koyasu/>

自分が好き 友だちが好き 学校が好き まちが好き



唯一無二の存在

副校長 吉川 真由美

年度の終わりを迎えようとしているこの時期になると、いつも思い出すことがあります。

今から十年ほど前のことです。

2年生のかわいらしい女の子…。屈託のない笑顔で近寄ってきてはいつまでも小鳥のようにおしゃべりを続ける子でした。目を閉じると、耳で「先生、あのね。〇〇はね…」という声が今も聞こえるようです。

時々、その子の表情から突然に笑顔が消えてなくなることがありました。それだけでなく、涙がとめどなくあふれてきます。まるで明るかった空にたちまち暗雲がたちこめ、予想もしなかった大雨になるかのような、そんな感じでした。…何をしてよいか、わからなくなってしまいます。そうすると、周りが優しい言葉をかけようが、何をしようが、落ち着くまでには時間が必要でした。

お母さまは、そんな彼女のことをいつも心から気にかけておられました。一方で、彼女の一点のよどみもない純真さのことを心から慈しみ大切に思われていました。

わたしは、というと、担任としてそんな彼女に何ができたろうか…、と今でも思います。大粒の涙をこぼしながらわたしを見つめる彼女に、「がんばろ！」というなんとも無情な一言を投げかけてしまったこともありました。思い出すと頭を抱えたくになります。

その彼女が2年生を終えようとしていたある日のこと、お母さまが一冊の詩集に添えてお手紙を届けてくださいました。

…先生というお仕事にエールを贈りたいと思います。先生の子どもたちへの想いが、小さな種となって、いつかきつとなにかの花のひとつとなっていくことを信じ、応援しています。

…『先生って 大変だね。』

でも大好きな子ども達から

必要とされなかったら

生きててもつまらないじゃないですか

『ほんものの先生だから』より抜粋 (しおりの花束 小山 明久 高木書房)

そうくられていました。涙が止まりませんでした。一年間、うれしいときも不安なときも、どんなときも教室でわたしを見続けてくれた小さな彼女のこと、親の思い、そして、何もできなかった自分のこと…。いろんなことが頭の中でぐちゃぐちゃになり、最後に、彼女の天真爛漫な笑顔がくっきりと浮かび上がりました。スーパー先生になれなくても、自分が先生でいる限り、どんなときも、子どもたちがわたしを必要として「先生！」と呼んでくれることに幸せと生きがいを感じる心情を忘れずにいようと、そして、十年ほど前の彼女がどんな個性の持ち主であったとしても世界でたったひとつのかけがえのない存在であったように、どの子も唯一無二であることを忘れないでいようと固く心に誓いました。

時を経て、あれからまた十数回目の春が巡ってきます。今のわたしは、誰一人同じでない1108通りの、未来を託された1108人の子どもたちに囲まれています。それだけで奇跡的な幸せです。

その子どもたち、今春、子安小から巣立つ6年生は12年ほど、昨春、入学した1年生においてはまだ7年ほどしか生きていません。これから先、彼らがいづどんな花を咲かせるのかは、誰にも分からないことです。そして、だれにも決めつけることはできません。だから、子どもたちはみな、どのような状況にあっても期待されるべき存在です。

創立記念集会

子安小学校の創立記念日は、1月15日です。今年度で創立149周年を迎えました。密を避けるため、今回の集会は、テレビ放送で行いました。また、ペットボトルを使ったキャンドルを作成して全校でお祝いをしました。

5年生の実行委員が中心となり、子安小学校の歴史や現状に関するクイズを出し、全校児童で楽しみました。横浜市の中でも大変歴史が深く、大きな規模の学校であることを知り、自分たちの学校への愛着や誇りをもつきっかけになる時間となりました。実行委員の言葉の中に、「来年の創立150周年に向け、今年一年新たな歴史を紡いでいきましょう。」という内容がありました。児童にとって150周年に向けての想いを強めることができた集会となりました。



書き初め

今年も3年生以上が、一堂に会して書き初めを行いました。寒さ対策のストーブにより、ほんのり温かくなった体育館で、間隔を空けながら座り、落ち着いた様子で、一文字一文字、丁寧に書き上げていました。よい字が書けて満足そうにしている児童も多く見受けられました。



4年 校外学習

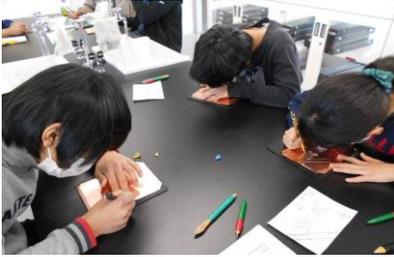
1月18日(火)、4年生は八景島シーパラダイスと関内ホールでのバレエ鑑賞に行ってきました。シーパラダイスでは、グループで活動しました。ルールを守って行動する子どもたちの姿は立派でした。バレエ鑑賞では、初めてバレエに触れる子が多かったのですが、本物の演技を目にすることで、体の動きで感情や思いを伝えられることを感じていました。



2年 図工造形教室

1月18日(火)に造形教室の出前授業を行いました。カラフルスティックを個人やクラスのみなどで重ね、様々な形を作る活動を行いました。バランスに気をつけながら自分のイメージを表現しようと一生懸命取り組んでいました。(実施していないクラスは、3月に延期しています。)





6年 銅板画制作

1月18日(火)、24日(月)、26日(水)に6年生は、卒業制作として銅板画制作を行いました。今年度も横浜マイスターに認定されている玉田正さんにお越しいただきました。

銅板画は、まず下絵を銅板に写し取り、その後、何回も銅板にへこみをつけていくことで、絵が浮かび上がって見えるようになります。卒業への思いを込め、集中して取り組んでいました。最後の仕上げでは、専用液で銅板を発色させ、表面処理をしたうえで、玉田さんやスタッフの方に、一つ一つ額縁をつけていただきました。

玉田さんやスタッフの方のご指導があってこそできる、子安小学校伝統の卒業制作です。「小学校生活の思い出」や「大切にしたい言葉」などをテーマにしました。完成した絵や言葉には、それぞれの個性が表れています。

学校携帯電話の番号登録を お願いします

学校との連絡電話番号となりますので、登録をお願いします。また、着信拒否の設定にならないようにご配慮ください。この携帯電話は、「音声通話」のみで使用します。「メール」の対応はできません。学校へのお問い合わせは、今まで通り、学校の固定電話へおかけください。携帯電話は、原則として学校からの発信専用とさせていただきます。

070-2153-1803
080-7619-4395
080-7619-4062

固定電話 421-0993

平日の17:30から翌朝7:40までと、休日の終日は、留守番電話設定になります。

毎年、子安小学校は、世界の子供達のためにユニセフ募金をお願いしています。今年も募金のために協力して、募金の必要な世界の子供達の命と健康を守るため、企画委員で活動をすすめています。

募ったお金は、日本ユニセフ協会へ送られます。

そして、食料の調達や、病気を防ぐための蚊帳(かや)の調達などに使われます。

ユニセフ募金は、2月14日(月)~18日(金)の5日間に行われます。

児童の皆さんには、2月7日(月)にユニセフ募金の袋とプリントを配付する予定です。

ご協力、よろしく申し上げます。

企画委員一同より

冬季の服装について

○感染症対策のため、換気を強化しています。**寒い場合は、重ね着やカイロの使用**(学校で捨てることはできません。)をするよう声をかけています。

○体育の授業時は、防寒のため、**運動に適したジャージ等の長スポンの着用**を認めます。ただし、次のことにご留意ください。(トレーナー等の上着と同じ扱いです。)

- ・温まったら脱ぐことができるよう、**下には、体育着を着用**する。
- ・自他の安全のため、ファスナー・ボタン・長いひも・金属等の**固い部分がなく、運動に適した素材のもの**。
- ・衛生面への配慮から、**体育時のみの使用**とし、そのまま着続けない。
- ・紛失防止のため、**タグ等に記名**する。

○着脱しにくく、怪我の際対応が難しいため、**レギンスやタイツ系の衣類は、体育時は不可**とします。

○半袖の体育着の場合は、肌着が露出する長袖タイプではなく、半袖等の肌着の着用をお願いします。